



七夕飾りが通りを華やかに彩る ～枕崎七夕の会が笹竹配布&コンテスト

■枕崎七夕の会(板敷浩実代表)による笹竹の配布が今年も行われました。3回目となった今回は約160本の注文があり、8月上旬、市内各地で鮮やかな七夕飾りが見られました。

また、今回初めて七夕コンテストを開催したところ、保育・幼稚園や各種団体、企業から多数の応募があり、審査日となった8月4日には市役所通りや駅通りに工夫を凝らした七夕がずらりと並び通りを華やかに彩りました。



道路愛護の心で通りを美しく ～8月10日『道の日』に市街地の道路パトロール

■8月は『道路ふれあい月間』でした。また、8月10日は『道の日』に定められており、この日は市、国道指宿維持出張所、南薩地域振興局建設部、消防署、商工会議所などの関係者が市街地の幹線国県市道の道路パトロールを実施し、道路清掃や不法占用・看板などの指導・取り締まりを行いました。市民の皆さんも道路愛護に努めていただくようお願いいたします。

感謝の気持ちを含めグラウンド清掃 ～サッカークラブ『枕崎FCキッズ』がボランティア清掃

■小学生のサッカークラブ『枕崎FCキッズ』による片平山グラウンドのボランティア清掃が8月19日に行われ、団員や保護者など約30人がゴミ拾いや草払いなど約1時間の作業で汗を流しました。

キャプテンの生駒仁くん(枕崎小6年)は「いつも使っているグラウンドに感謝しながらゴミ拾いをした。これからも大切に使いしていきたい」と話していました。



みんなの『愛』に支えられて ～少年の主張鹿児島県大会

■『少年の主張鹿児島県大会』が8月1日、鹿児島市で行われ、谷和樹くん(桜山中2年)が出場しました。同大会には、県下全域から寄せられた応募総数6,104点の中から1次審査を通過した10人のみが出場できます。

谷くんは『僕の願い』という題で、幼いときのけがにより右手と足が不自由になったお兄さんのことにふれ、家族愛、そして障がいにならず温かな笑顔を絶やすことなく過ごしている学校生活など、周りの人たちの『愛』に支えられているという内容を身振り手振りを交えながら堂々とした態度で発表しました。



青春の味『水高かつおのけずり節』 ～鹿児島水産高校生徒による販売会

■鹿児島水産高校と市漁協とで共同開発した『水高かつおのけずり節』の販売会が8月20日、地場産業振興センターで行われ、同校の専攻科生3人が店頭立ち商品の説明をしながら販売しました。このけずり節は、生徒たちがハワイ沖での遠洋航海で枕崎漁港に水揚げしたカツオを地元の鯉節工場で節にしたものです。

吉永京平くん(専攻科2年)は「僕たちが頑張って捕ったカツオをいろんな人に食べてもらえてうれしい」と話していました。『水高かつおのけずり節』は地場センターのほか、かつお公社などで販売しています。



自身の体験から命の尊さを訴える ～平和へのメッセージfrom知覧スピーチコンテスト

■スピーチコンテスト『平和へのメッセージfrom知覧』が8月15日、南九州市で開催され、山神正文さん(立神北町・鹿児島水産高校教頭)が特選を受賞しました。同コンテストには3部門に全国から3,516点の作品が寄せられ、審査を通過した12人がこの日発表しました。

一般の部で出場した山神さんは『五十歳・凛と命に向かい合った一年』という題で発表。昨年の4月に脳内出血で倒れ生死の境をさまよいながらも奇跡的に一命を取り留めた体験から、命の尊さを真摯に考えさせられたこと、繋がりが深まった家族の絆のことなどを熱弁し来場者の目頭を熱くさせていました。

のメッセージ from 知覧 22回 スピーチコンテスト



『火の神乙女太鼓 爽』全国大会で特別賞 ～第13回日本太鼓ジュニアコンクール

■『日本太鼓ジュニアコンクール』(全国大会)が8月13日、名古屋市中で開催され、『火の神乙女太鼓 爽』が中日新聞社賞と台湾太鼓協会賞の2つの特別賞を受賞する快挙を成し遂げました。全国大会出場3回目にして賞を手にするのは初めての事です。

各県の代表45チーム中『火の神乙女太鼓 爽』は11番目に登場。一打一打気迫のこもった演奏に会場からは拍手喝采でした。メンバーの今門梨奈さん(19歳)は「すべて出し切り最高の演奏ができた。悔いはありません」と話していました。

また、当日は東海枕崎会から上釜芳明会長(写真前列左)や中釜孝二副会長(同中央)など約10名が会場を訪れ出場者を激励しました。



▲激励に訪れた東海枕崎会の方々



日之出町・泉町チームが優勝 ～第56回枕崎市少年野球大会

■枕崎市少年野球大会が7月30、31日の2日間にわたって行われ、参加18チームが熱戦を繰り広げました。

試合はリンクトーナメントで行われ、接戦をものにして勝ち上がった日之出町・泉町チームが決勝でも一丸となったプレーを見せ優勝しました。キャプテンの下木原功俊くん(枕崎小6年)は「今まで頑張ってきた結果が出せた。みんなで仲良く心をついに戦う大会。後輩たちには来年も頑張してほしい」と話してくれました。



今月のラブ枕崎愛人さん



◎投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp